


 公益財団法人
どうぶつ基金

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL: 0797-57-1215
FAX: 0797-25-2075

contact@doubutukikin.or.jp

www.doubutukikin.or.jp



どうぶつ基金 


一人でも多くの人に知ってもらいたいので、
この資料を読み終えたら他の人に渡してください。

2016

活動報告書

doubutukikin activity report

2016/4/1-2017/3/31

 公益財団法人
どうぶつ基金



コツコツと。

お礼とご報告

いつもどうぶつ基金と共に歩み、ご支援して下さるすべての皆さんにこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、当基金が平成17年から始めた地域猫の無料不妊手術事業は来年で10年目を迎えます。なぜ、当基金が地域猫の不妊手術に熱心に取り組んでいるかというと、殺処分された猫の中には生まれたばかりの子猫が一定数含まれているからです。つまり、飼い主のいない子猫が生まれなければ、猫の殺処分数は減るといことです。そのために、飼い主のいない子猫を増やさないために地域猫の不妊手術を行うことが近道と考えています。

環境省から発表された犬猫の殺処分数(平成27年度)によると、犬は15,811頭 猫は67,091頭が殺処分されました。殺処分された犬猫は、前年度と比較すると約2万頭減少し、私たちの活動も多少なりとも貢献できているのではないかと自負しております。

10年前と比べると犬猫の殺処分数は減りました。しかし、殺処分数ゼロの実現には時間がかかります。このペースで1年間に約2万頭ずつ、殺処分数が減れば、2019年には、ゼロになります。実現できれば、2020東京オリンピックの年にはゼロにするのは不可能ではないと思ひ、その夢に向かって邁進する所存です。

ここで平成28年度に当基金が新たに行ったことを2つ紹介します。1つは、平成24年から始めた、いわゆる「ねこ島」にいるほぼ全てのねこを手術して元の場所に戻す「さくらねこの島」活動を新たな島で実施したことです。今回は、香川県の男木島、志々島で行いました。

もう一つは、「多頭飼育崩壊」現場の救済です。多頭飼育崩壊とは、ペットが飼い主の意図を超えて増えることにより、飼い主とペットの生活が崩壊することです。今回は、崩壊現場にいた猫に不妊手術を行いました。新たな社会問題の一つとしてこれからも表面化していく可能性がありますので、多くの方々の協力を得て、解決を手助けしたいと思います。

しかしながら、不妊手術をするためには、全国の協力病院、行政、自治体、ボランティアの方々をはじめ、助成金や寄付金のどれ一つが欠けても成し遂げられません。今まで4万頭の不妊手術を行ってきましたが、まだ不妊手術をしなければいけない猫や困っている地域はたくさんあります。私たちは、活動に共感してくれる仲間を一人でも増やし、少しでも殺処分数を減らすために努力を惜しまない所存です。

最後に、どうぶつ基金と共に歩み、ご支援して下さるすべての皆さんに変わらぬご支援をいただけるようお願い申し上げます。



公益財団法人どうぶつ基金 理事長

佐上邦久



41,386頭

のさくらねこが誕生しました。

殺処分ゼロに向けて

いつもどうぶつ基金にご協力いただいている全国の協力病院、行政、自治体、ボランティアの皆さん、寄付金というかたちでご支援して下さる皆さんに御礼申し上げます。

私の住む神奈川県は27年度の犬猫の殺処分頭数はゼロでした。犬の殺処分頭数は平成25年度から3年間、猫の殺処分頭数は平成26年度から2年間ゼロを継続しています。しかし、実態は一部の保護団体やボランティアの方々が動物保護センターから殺処分前に犬猫を引き出しているだけで、収容数を減らす根本的な解決にはなっていません。本当の意味での殺処分ゼロとは、犬猫がセンターに持ち込まれる頭数がゼロになることです。そのために当基金では、飼い主のいない猫を増やさないために地域猫への不妊手術を実施する活動を行っています。神奈川県でも猫は家の中で飼い、不妊手術を行うことやノラ猫に餌を与えるときの注意と不妊手術の重要性、離乳前の子猫を一般家庭に迎えてもらうための活動を行っています。当基金でも不妊手術の重要性について伝えていきたい所存です。

さて、平成28年度当基金行った地域猫の無料不妊手術は約16,741頭、累計41,386頭でした。地域猫などに不妊手術するための活動は、全国の協力病院、行政、自治体、ボラ

ンティアの方々をはじめ、助成金や寄付金など多くの人の協力で支えられています。しかし、資源は限られているため、すべての地域猫に不妊手術を行えるわけではありません。

また、地域猫以外にも不妊手術が必要な猫がいます。ただ、そのような猫への不妊手術の費用をだれが負担するのか、だれが面倒をみるのかという問題もあります。しかし、だれかが不妊手術をしないと飼い主のいない猫が増えて悪循環に陥ることがあります。そのために当財団では、無料不妊手術チケットを配布していますが、すべての希望に応えられるわけではありません。

当基金が重点的に取り組んでいる不妊手術は、飼い主のいない猫を無計画に増やさないための活動であり、飼い主のいない猫に飼い主を探す活動ではないのですが、不妊手術は継続的に続けていく必要があります。どうか、当基金の活動にご賛同いただき、ご寄付をいただけたら幸いです。

どうぶつ基金顧問(獣医師)

山崎 武雄

(参考：神奈川県ホームページ)

平成27年度も、犬と猫の殺処分ゼロを継続 ~ ベットのいのちも輝く神奈川の実現に向けて ~ <http://www.pref.kanagawa.jp/prs/p1030425.html>

※「さくらねこ」= 不妊手術済みのしるしに、耳先をさくらの花びらの形にカットしたねこのことです。



平成28年度は

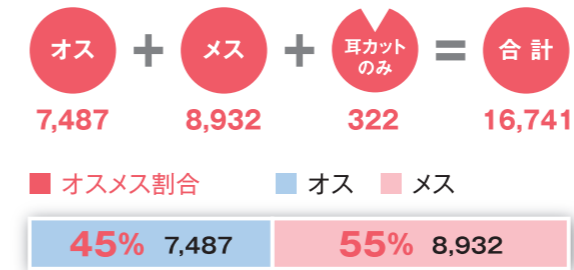
16,741頭の

さくらねこ無料不妊手術を行いました。

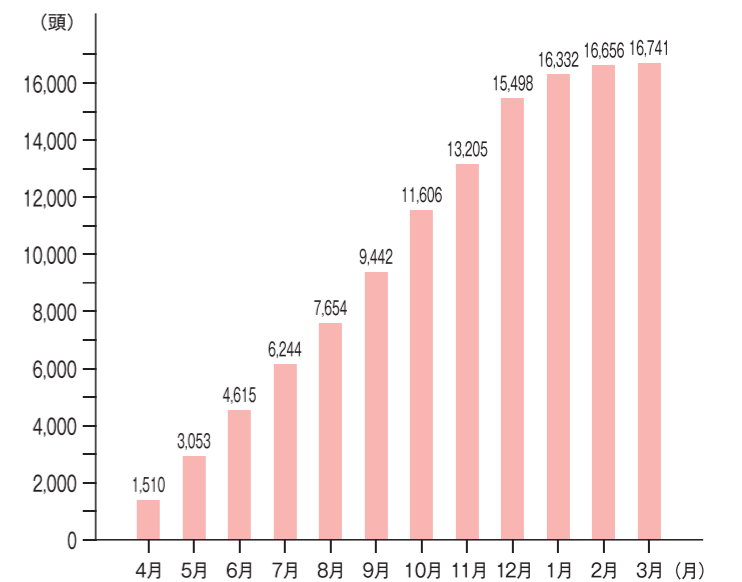
さくらねこ無料不妊手術事業は、「平成28年度日本郵便の年賀寄附金」の助成を受けています。

不妊手術で殺処分ゼロを目指す

平成26年度に全国で殺処分された猫は、79,745頭です。なかでも猫の殺処分数が最も多い大阪府では、殺された猫のうち、90%が離乳前の子猫でした。もし、子猫がうまれなければ殺処分は減ります。どうぶつ基金ではコツコツと不妊手術を実施することが、殺処分ゼロへの近道と信じています。平成28年度は、「さくらねこ無料不妊手術事業」を16,741頭と実施しました。



■ 平成28年度さくらねこ無料不妊手術数累計



救う。

どうぶつ基金が実施する
さくらねこ無料不妊手術。



- 行政との協働数 **33 件**
- 一般枠協働ボランティア数(のべ) **736 人**
- 協力病院数 **92 院**
- 出張手術の回数と手術頭数(総数) **11 回 3,068 頭**





- 即行** **スグやる** 猫は1年に3回出産することができ、1度に5~7頭の子猫を産むことができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っている、猫の繁殖スピードに追い付けません。
- 徹底** **全部やる** 90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。
- 継続** **続ける** 100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新入りが見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば殺処分ゼロ、苦情ゼロが実現できます。

さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)

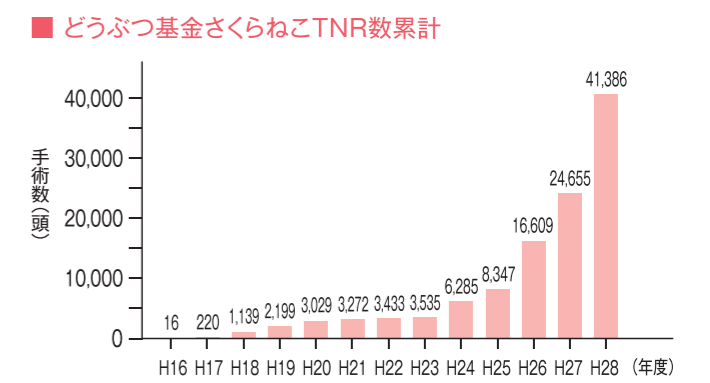
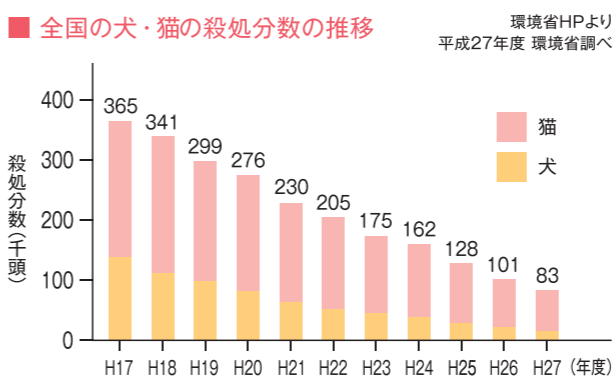
「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。



TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術してさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNR数千頭の実績を持つ獣医さんや専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

守る。

どうぶつ基金が推進する
さくらねこTNR。



どうぶつ基金が行う様々な支援活動

? TNRの活動を どうやって子どもに伝えたらいいか 迷ったことはありませんか?

どうぶつ基金では、とてもわかりやすいパンフレットやポスターを無料配布しています。ホームページからお申し込み下さい。

www.doubutukikin.or.jp



さくらねこの島。

人より猫が多い通称ねこ島、観光資源として脚光を浴びる反面、
過剰繁殖、糞尿臭や鳴き声、農作物の食い荒らし、といった
苦情や猫の健康状態を心配する声が上がっています。

どうぶつ基金では平成24年から全国のねこ島に行き一斉TNRを続けています。



離島での活動記録

- 平成24年 沖縄県 石垣島 サザンゲートブリッジ島 171頭
- 平成26年 福岡県 馬島 79頭
- 平成27年 鹿児島県 竹島 92頭
- 平成26~28年 鹿児島県 徳之島 2,136頭
- 平成28年 香川県 男木島 141頭
- 平成28年 香川県 志々島 68頭



「さくらねこの島」では
穏やかなときが流れています。

平成28年度は2つの島が「さくらねこの島」になりました。

☐ 男木島

人と猫の共存共栄を目指して

「瀬戸内さくら猫推進会」会長 木場 健一



瀬戸内海の島々では、猫による苦情が増えています。今回、男木島、志々島と香川県の2島の出張不妊手術をどうぶつ基金とNPO法人BONIにゃんの協力により成功させました。今では多くの猫目当ての観光客が訪れ、見違えるように健康となった猫と触れ合っています。これがきっかけで私は「瀬戸内さくら猫推進会」なる会を発起し現在30数名の会員と活動を続けています。島には日本全国からキャットフードが多く送られてきており、感謝の気持ちで一杯です。

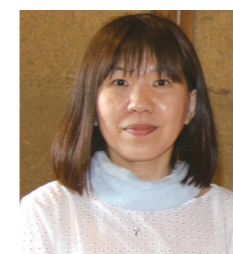
手術総数 **141** 頭

活動地域：香川県高松市 人口：80人
協働団体名：NPO法人 BONIにゃん

☐ 志々島

幸せなさくらねこの住む瀬戸内の美しい島

BONIにゃん 長町 満里子



瀬戸内海の小さな二つの島に、夢の島への第一歩が記されました。「男木島」に続いて、「志々島」には68頭の「さくらねこ」が誕生しました。島を訪れる観光客から猫の健康状態が悪いと相談を受けたのが平成28年の春、島民も増え過ぎた猫に苦しんでいました。ほとんど困り果てた住民とボランティアの悩みを一気に解決して下さったのが、どうぶつ基金さんです。出張手術の後、猫は穏やかに糞尿の臭いも激減。善意の猫餌も届きました。ご支援いただいた皆様には心から感謝申し上げます。

手術総数 **68** 頭

活動地域：香川県三豊市 人口：17人 協働団体名：志々島自治会 / 瀬戸内さくら猫推進会 / NPO法人 BONIにゃん

多頭飼育崩壊。

17件418頭を支援。

「最初に不妊手術さえしておけば…」

多頭飼育崩壊とはペットが飼い主の意図を超えて増え、問題化することです。苦情件数は、全国で年間およそ1,800件。(NHKクローズアップ現代+より)ここ数年、トラブルの報告は増加の一途をたどっています。東京都心部の一軒家では、不妊手術を怠ったばかりに、2頭の猫がわずか3年で80頭まで増え、家の中は糞尿にまみれたゴミ屋敷状態。大阪の一人暮らしの男性の部屋は、床が数十センチの糞尿の層でおおわれていました。どうぶつ基金には多くのSOSが寄せられましたが、平成28年度は17件418頭の無料不妊手術を支援しました。



東京都



voice



mocoどうぶつ病院
獣医師
齊藤 朋子

手術総数 78 頭

多頭飼育崩壊現場の家のリビングで一斉手術(70頭)とチケット使用(8枚)

獣医療を通じてヒトと猫の健康を守る

どうぶつ基金の協力病院として開院当初の平成21年から、参加させていただいています。さくらねこ元年となった平成24年・石垣島での出張手術に始まり、姫路城、徳之島でも活動に参加してきました。今年度も多くの無料チケットを発行して

いただき、モコどうぶつ病院でも739頭のさくらねこが誕生しました。また10月には都内多頭飼育崩壊現場の手術のお手伝いをさせていただきました。たった2匹の不妊手術を怠ったために起きてしまった悲劇は、猫の問題だけでなく、人の生命・健康・財産をも損なう事になります。どうぶつ基金からの後押しで救われた命は犬猫だけではなくありません。多くの成功事例を作ってきたさくら、世の中の流れは確実に良い方向に変化していると実感します。このような尊い活動を継続されるどうぶつ基金さまとご支援くださる皆様に心から感謝申し上げます。

voice

地域ボランティアとどうぶつ基金の協働で大きな成果

 ボランティア 清澤 由美子

多頭飼育崩壊の事案について、こちらの急な要請にも関わらず、迅速な対応をしてくださりましたこと、本当に感激いたしました!!猫70匹の手術に向けて懇切丁寧に慈悲深く、ご教示頂きました。どうぶつ基金のお陰で、猫がこれ以上増えず、近隣住民からも、

糞尿の臭いがしなくなった。との声を頂いています。また当事者家族も、前向きになり、頑張っています。どうぶつ基金さんの活動は、猫助けした結果、人を幸せに導く人助けですね。大きな、お役目を担われていると、心より尊敬と深謝を申し上げます。

石川県
金沢市

飼い主は集合住宅に住む独居老女、当初2頭だった猫の1頭が脱走、帰宅後数頭を出産した。その後、繁殖を繰り返し2年で38頭に増えた。集合住宅の管理者が飼い主に、猫の処分が立ち退きの2択を迫る中、金沢市の行政からどうぶつ基金に出張手術の要請があり、全頭の手術を金沢市小動物管理センターで行った。今後は金沢市行政とボランティアで新しい飼い主に譲渡する予定。



協働。

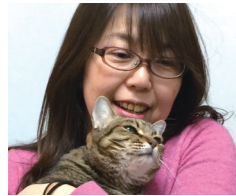


やるで!大阪さくらねこTNRプロジェクト2016 手術総数 1,891 頭

活動地域：大阪府大阪市 協働団体：大阪ねこの会

大阪さくらねこTNRは殺処分ゼロをめざす「公益財団法人どうぶつ基金」と「大阪ねこの会」の協働事業です。本事業では不妊手術、ワクチン、ノミダニ駆除薬の費用をどうぶつ基金が全額負担、その他は大阪ねこの会が負担しました。

voice



大阪ねこの会
荒井りか

大阪の猫の殺処分ゼロを目指して

平成28年度、「大阪ねこの会」は「公益財団法人どうぶつ基金」と協働し、「やるで!大阪さくらねこTNRプロジェクト2016」と題して大阪の猫の殺処分をゼロに近づけるべく奮闘しました。大阪の殺処分数はワースト1。その90%が幼猫でした。TNRを進めれば、殺される猫の数は確実に減らすことができる。今回のプロジェクトでは、1度にたくさんの猫を手術して頂けるので地域ごとに大きく成果が出ると思います。また、多頭飼育崩壊を防いだ事例もありました。TNRを進めることは、



地域問題の解決であり、多頭飼育崩壊を防ぐ人助けです。「どうぶつ基金」にご寄付頂いた皆さまのおかげでこれらの活動が継続できます。本当にありがとうございます。

すんどおー沖縄さくらねこTNR 手術総数 674 頭

活動地域：沖縄県那覇市・糸満市・沖縄市 協働団体：琉球ワンニャンゆいまーる

voice



琉球ワンにゃんゆいまーる
畑井 モト子

沖縄に愛され猫が増加中

琉球わんにゃんゆいまーるはどうぶつ基金と協働し、すんどおー沖縄さくらねこTNRというプロジェクトを立ち上げ、沖縄県内で那覇市、糸満市、沖縄市は2カ所の計4カ所ので、674頭の飼い主のいない野良猫の不妊去勢手術を実施しました。地域と協働することができ、地域住民にも不妊去勢手術の大切さを周知し、理解していただけたことが大きな成果となりました。また、他市町村からもTNRを行いたいという声もいただいております。すんどおー沖縄さくらねこTNRができたのも、どうぶつ基金にご寄付いただきました全国の皆さま



のおかげです。沖縄の猫のために誠にありがとうございました。沖縄もどんどんさくら猫が増えてきています。今後も野良猫からさくらねこへ、地域に愛される猫になるように活動していきます。応援どうぞよろしくお願いいたします。



お初天神さくらねこTNRプロジェクト 手術総数 34 頭

活動地域：大阪府大阪市 協働団体：曾根崎お初天神通り商店街会 / 露天神社 / 曾根崎二丁目北町会 / 曾根崎二丁目南町会

voice



もんばーる
山本 光恵

さくらねこの街として

私達の街は梅田の玄関口と言われている場所です。しかし野良猫が沢山いて、お店の方々から苦情が絶えませんでした。こんなことでは…と各町に声かけ、人、猫と共存して一代限りの命を大切にしようという取り組みに入りました。どうぶつ基金様基金の協力を得て6月にお初天神境内で一斉手術、それ以降TNRチケットで100頭程幸せな猫が増えました。子猫も30頭程里親に出せました。まだまだ手つかずな場所もありますが、広範囲の



大阪市北区エリアにおきましても、さくらねこの街を目指します。ご支援していただいている方々に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。感謝の気持ちで一杯です。

大阪学院大学さくらねこTNRプロジェクト 手術総数 18 頭

活動地域：大阪府大阪市 協働団体：大阪学院大学

voice



大阪学院大学 課長
宮原 秀明

さくらねこは地域連携の第一歩の証

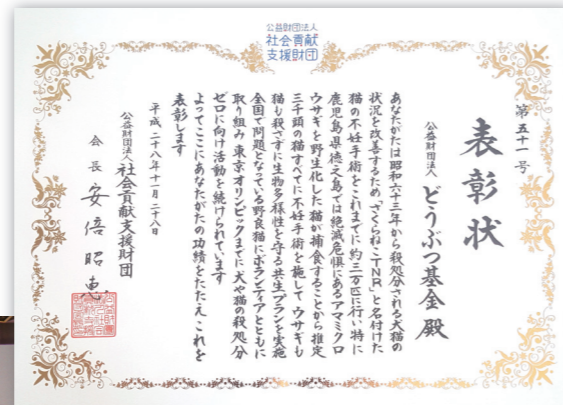
現在、大阪学院大学にいる猫は、みんなさくら耳です。昨年まで、猫の個体数増加や鳴き声、尿の匂いやまきえさの食べ残しなどの問題について、地域の方々から様々なご意見やご要望が寄せられました。そして大学では、これらを衛生管理の問題として捉え、自治会長と慎重に協議を重ねてきました。その結果、ボランティアの方々や地域の方々、動物病院の方々、本学生、そして公益財団法人どうぶつ基金にご協力をいただき、キャンパスにいる猫を対象に、昨年9月「さくらねこTNR」を実施しました。それ以降は、毎日の餌やりを決まった時間と場所で行うことで、キャンパスの衛生管理と、猫の個体管理もできています。また、さくら耳ではない猫への対応も早期に可能となり、先日キャンパスにいた猫がさくら耳になりました。現状が維持できているのは、一日も欠か



すことなくキャンパスに足を運んでくださるボランティアの方や学生たちのお蔭です。これで問題がすべて解決したわけではありません。しかし、繁殖を抑制し、それに伴う問題の対策ができています。この安心感が今はあります。現在、大阪学院大学にいる猫は、みんなさくら耳です。本件に関わっていただいているすべての方々に感謝しております。また、今後も地域の皆さまとの意見交換を続けていけるように、と願っています。

公益財団法人どうぶつ基金は公益財団法人社会貢献支援財団(安倍昭恵会長)が主催する「社会貢献者表彰」で「日本財団賞」を受賞いたしました。

主催：公益財団法人 社会貢献支援財団
会場：帝国ホテル東京(東京都)
開催日：平成28年11月28日(月)



世の中から不幸な犬や猫を減らすために、全国各地で講演活動を行っています。

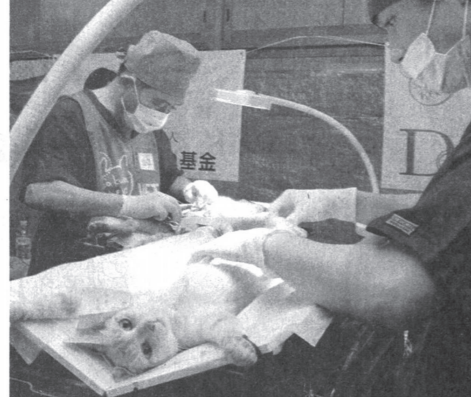


和歌山	wakayama	沖縄	okinawa	大阪	osaka
<p>動物愛護講演会 「TNR先行型地域猫活動 さくらねこで殺処分ゼロ」 主催：一般財団法人ワンダフル 後援：和歌山県 橋本市 日時：平成28年9月11日(日) 場所：橋本市市民会館(和歌山県)</p>		<p>16日は沖縄県下の10市町村から来ていただいた動物担当行政職員を前にTNR先行型地域猫活動についてお話をさせていただきました。続いて17日は沖縄県各地から来られた約50名の一般市民や議員の方が対象でした。</p> <p>行政と市民対象の講演会 主催：琉球わんにゃんゆいまーる 日時：平成28年12月16日(金) ※ 行政関係者対象 会場：沖縄県動物愛護管理センター 日時：平成28年12月17日(土) ※ 市民対象 会場：那覇市民活動支援センター</p>		<p>殺処分日本一の大阪ですが、この4年間で殺処分数は半減しています。その減少率は全国平均よりも早く、8,000頭が4年で4,000頭になりました。あと4年で4,000頭減らせば、殺処分ゼロ達成です。</p> <p>「大阪ねこの会・第6回定期集会」 主催：大阪ねこの会 日時：平成28年9月25日(日) 会場：阿倍野市民学習センター 講堂</p>	

平成28年度 新聞掲載

掲載数 約30回

避妊手術を施される島の猫たち（男木島で）



男木島 2日で117匹避妊手術

男木島（高松市）で、2両日、島に暮らす猫177匹に避妊手術が行われた。捕獲しきれなかった猫は、今後発見して手術をしていくという。「猫の島」として観光客の人気を集める一方で、島では増えすぎた猫による被害が後を絶たない。住民と猫が幸せに暮らしていくには、地域ぐるみでの見守り活動やルール作りが欠かせない。

猫の島の幸せ ルール不可欠

い（117件）「ふん尿被害」（76件）が上位を占めた。狂犬病予防法などを根拠とした行政が捕獲する野良犬と違い、猫は放置され繁殖しやすい。このため、同課は避妊手術を施して住民らが活動の面を見守る「地域猫」活動を推進。高松市を除く市町で地域猫活動のモデル地域指定された自治会などに対し、野良猫の手術代を1匹につき1万円助成している。

ふん尿・餌対策で共生

「時間はかかるかもしれないが、避妊の効果で住民の見方も変わる。猫が島内外で愛される島になれば、1日間にわたる作業を終え、男木地区コミュニティ協議会の木場健一会長（68）は希望を語った。

人間の都合 胸に刻んで

活動では、妊娠中の猫も対象となった。手術台の上では、大きくなった腹部にメスが入り、捕獲があと少し遅ければ生まれていたかもしれない「命の塊」が取り出されていた。「どこかで線を引かないといけないよ……」。言葉を手伝った同基金の女性スタッフが苦しそうにつぶやいた。観光客らの無責任な餌やりや曖昧な管理状態が続いた結果、大規模な捕獲や避妊手術につながった。

「猫ブーム」「ネコノミクス」といった社会現象の裏には、人間の都合によって失われる命がある。そのことは、ずっと胸に刻んでいた。（岸田藍）

平成28年6月4日 読売新聞



猫の去勢手術開始

志々島 獣医師5人参加

三豊市の志々島で20日、猫の去勢手術が開始された。地元東京から来た獣医師5人が参加し、約70匹を捕獲して手術を行った。約70匹を捕獲して、北野省一さん（70）は「一人ひとりが大切に育てたい。去勢手術は、猫の健康を守るために大切な手術だ」と話している。

志々島 共存へ猫不妊手術

男木島に続き2例目 殺処分ゼロを目指す

三豊市の志々島で、増えすぎている野良猫に不妊手術が行われた。猫の数は島を大きく上回っており、猫と人がかたも暮らしていくための試み。県内では、今年10月の男木島・高松市に続いて2例目となった。島の自治会による、島内に住むのは30〜40代の17人。一方、野良猫は年々増え続けている。今では約70匹いるという。自治会長つ基金（兵庫県豊田市の山形浩さん）は「島民が協力し、猫の健康状態を把握して、手術した。殺処分を減らしていきたい」と話している。



自宅の庭で猫を捕獲する島民 三豊市の志々島

平成28年12月29日 毎日新聞

平成28年12月24日 朝日新聞

平成28年度 TV取材

放映数 約10回



平成28年度 WEBニュース

掲載数 約30回

Web news article from NHK Close-up Modern+ titled 'ネコに家が壊される〜広がるペット多頭飼育崩壊〜'. It discusses the impact of multi-cat households on property and the environment.

NHK クローズアップ現代+ 佐上理事長出演

Web news article from NHK Kansai Hot Line titled 'かんさい熱視線「あっという間にネコ80匹 広がる“ペット多頭飼育崩壊”」'. It reports on the rapid spread of multi-cat households in the Kansai region.

NHK かんさい熱視線 WEB

Web news article from NHK Kansai News Web titled '大学構内の野良猫に避妊手術'. It reports on a sterilization surgery for stray cats on a university campus.

NHK 関西NEWS WEB

写真を通じて知る動物たちの幸せな物語

写真コンテストの審査員として微力ながらどうぶつ基金の活動に関わらせていただいております。コンテストに応募された作品はどれもクオリティが高く、毎回、審査にも力が入ります。それぞれの動物たちが、いのちをつなぐという経験を経て、新しい家族のもとで心を開いた幸せな瞬間を捉えたものばかりで、とても心が動かされます。展示会も毎度拝見しておりますが、会場で写真に添えられたエピソードを読むと、さらに感動します。これからも、コンテストや写真展を通じてより多くの方々にどうぶつ基金の活動を知っていただきたいと思っております。ご寄付をいただきました支援者の皆様へも心より感謝申し上げます。



コンテスト審査員 ハニハジメプロダクツ
八二一さん

作品展・作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか? どうぶつ基金では、展示品を全国に無料貸出しています。

どうぶつ基金貸出専用ホームよりお申し込みください。

www.doubutukikin.or.jp



会場で
地域猫相談会を
開催しました。



「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2016」
入選作品展

買わずに飼ってね!

いのちつないだ♡ ワンニャン写真・動画コンテスト

小さな命を救い、共に生きる。

このコンテストは、犬や猫と幸せに暮らす方法として、ペット業者から買うのではなく「保護された動物の里親になる」「地域猫の世話をする」といった、本当なら殺されていたかもしれない小さな命を救い、共に生きることの素晴らしさを多くの人に知ってもらうために開催しています。



環境大臣賞 川崎 孝洋さん

この度はこのような賞を頂き大変うれしく思っています。これもひとえにモデルになってくれた地域猫の通称「てんちゃん」のおかげ、そして公園の猫のお世話をしてくれる有志の方々のおかげと思っています。この公園にはてんちゃんのような飼い主のいないさくらねこが20頭以上います。有志の方々毎日のえさやりはもちろん里親探しや不妊手術、はたまた病気やけがをしたら病院に連れて行くなどのお世話をしてくれています。てんちゃん達が色々な問題を抱えながらもこうして元気に生きていけるのもお世話をしてくれる方々の並々ならぬご努力のおかげかと思っております。「小さな命を救い、共に生きる。」…もともと多くの人たちにこうした活動があるのだと知っていただけたらと思います。また猫たちに会いに行きます。

餌やりマナーを守って愛され猫 ポスターコンテスト

餌やりマナーを広めるために。

お腹を空かせたノラ猫をかわいそうに思い、食べ物を与えるボランティアの人や通りすがりの人がいます。でも餌をばら撒いたり、放置して後片付けをしないと周囲の迷惑になり、餌をやる人や猫が嫌われてしまうことがあります。これではせっかくの優しい気持ちが台無し。そこでマナーを守ることによって、人と猫が幸せに共生できる。というメッセージを込めたポスターコンテストを実施しました。

入賞作品は防水ポスターにして、全国のボランティアさんや行政に無料配布しています。



森田恭通賞 川崎 杏菜さん

この度は、私の作品を森田恭通賞に選んでいただき大変嬉しく思っています。私は専門学校でデザインを学んでおり、ただ動物が好きだということで、たまたまこのコンテストに興味を持ちました。もちろん、さくらねこの存在などは知らず、殺処分されている動物がたくさんいるのは何となくわかってはいたものの、身近な問題としては捉えていませんでした。しかし、調べていくうちに、餌やりのマナーひとつで、後々になって多くの猫の人生に関わることを知りました。そこで、自分のデザインの手で人々の心に響くメッセージ性を持ったポスターを作ることが、このコンテストでの私の目的となりました。なんで青いのか?なんで表情がないのか?想像したり、色んな感想を抱いていただけると嬉しいです。結果的にこの問題の認知に繋がり、少しでもどうぶつ基金の活動のお役に立てればと思います。この賞に選んでいただけたこと、どうぶつ基金の活動にご支援いただいている皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



平成28年度は、
全国の協働ボランティアと協力病院によって、

16,741頭の
さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、
殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、
ボランティアさんからの申請を受け、
どうぶつ基金の協力病院で使用可能な
「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。
全国の協力病院とボランティアとの協働により、
平成28年度は16,741頭のさくらねこが協力病院でうまれました。

平成28年度
協力病院全国

92
病院

平成27年度
56
病院



- **北海道**
恵庭市 よつば動物病院
千歳市 新千歳動物病院
- **青森県**
三戸郡 八戸さくらねこの病院
- **宮城県**
塩竈市 フォルテ動物病院
仙台市 仙台ブラム・アニマルクリニック
仙台市 Dog&Cat Hospital GALFAR
- **福島県**
いわき市 いながき動物病院
- **茨城県**
土浦市 いながき動物病院
つくば市 みどりの動物病院
牛久市 D&C獣医科クリニック
- **栃木県**
足利市 柿沼ペット病院
- **群馬県**
藤岡市 ふー動物病院
- **埼玉県**
上尾市 堀どうぶつ病院
越谷市 いながき動物病院
八潮市 ペットクリニッククローバー
戸田市 アーボック動物病院
朝霞市 神山動物病院
蓮田市 らむ動物病院
- **千葉県**
千葉市 animal life clinic
松戸市 ときわだいら動物病院
- **東京都**
立川市 おおにし動物病院
立川市 立川プラスワン動物病院
町田市 聖マリアンヌ緑山動物病院
東大和市 湖畔どうぶつ病院
江戸川区 えどがわ犬猫びょういん
江戸川区 モネ動物病院
江戸川区 平井動物病院
中野区 mocoどうぶつ病院
渋谷区 代官山動物病院
日野市 きもと動物病院
武蔵野市 三鷹獣医科グループ
武蔵野市 ひだまり動物病院
調布市 くるみ動物病院
- **神奈川県**
川崎市 モモ動物クリニック
川崎市 ヴィータ動物病院
大和市 山口獣医科病院
横浜市 コトブキ獣医科医院
横浜市 明和動物愛護病院
横浜市 さかい犬猫クリニック

- 横浜市 シンシア動物病院
横浜市 いなば動物病院
相模原市 ふー動物病院
相模原市 どうぶつ医療センター
相模原市 陽光台グランベッツ動物病院
茅ヶ崎市 モア動物病院
茅ヶ崎市 まつうら動物病院
小田原市 Swing どうぶつ病院
- **新潟県**
魚沼市 ゆきのくに動物病院
- **山梨県**
苗吹市 苗吹どうぶつクリニック
- **岐阜県**
羽島郡 古田動物病院
- **静岡県**
浜松市 そら動物病院
浜松市 浜松家畜病院
- **愛知県**
豊川市 ヤマヒロ動物病院
名古屋市 しっぽ動物病院
名古屋市 アメニティ動物病院
丹波郡 やませどうぶつ病院
岡崎市 ダイゴペットクリニック岡崎
豊田市 ダイゴペットクリニック豊田
西尾市 ハート動物病院
- **三重県**
津市 すぎもとアニマルクリニック
伊賀・名張 三重県獣医師会伊賀支部(8病院)
- **京都府**
京都市 ぜろの会 動物病院
- **大阪府**
大阪市 一犬猫病院
大阪市 ありす動物病院
大阪市 天神橋バンビの森動物病院
大阪市 げんき動物病院
吹田市 くすのき動物病院
池田市 北摂TNRサポート
のらねこさんの手術室
松原市 エイペット

- **兵庫県**
神戸市 ますだ動物病院
赤穂市 郷司動物病院
- **奈良県**
葛城市 おさぎ動物病院
北葛城郡 はねベツクリニック
奈良市 あや動物病院
生駒郡 三郷どうぶつ病院
橿原市 耳成山動物病院
- **和歌山県**
和歌山市 さくら動物病院
岩出市 トリニティアニマルクリニック
- **広島県**
広島市 東原動物病院
福山市 りっか動物病院
- **福岡県**
大野城市 さくらねこ動物病院
- **熊本県**
熊本市 竜之介動物病院
- **鹿児島県**
始良市 加治木動物病院
鹿児島市 ル・オーナペットクリニック
- **沖縄県**
浦添市 みやざわ動物病院

(2017年4月27日現在)



19頭 × 5,000円

行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

犬や猫を殺処分前に救って 新しい家族を見つける活動を支援しました。

どうぶつ基金では、全国の行政で行われている
犬や猫の団体譲渡制度を推進するために、行政から保護動物を引き取り、
新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、

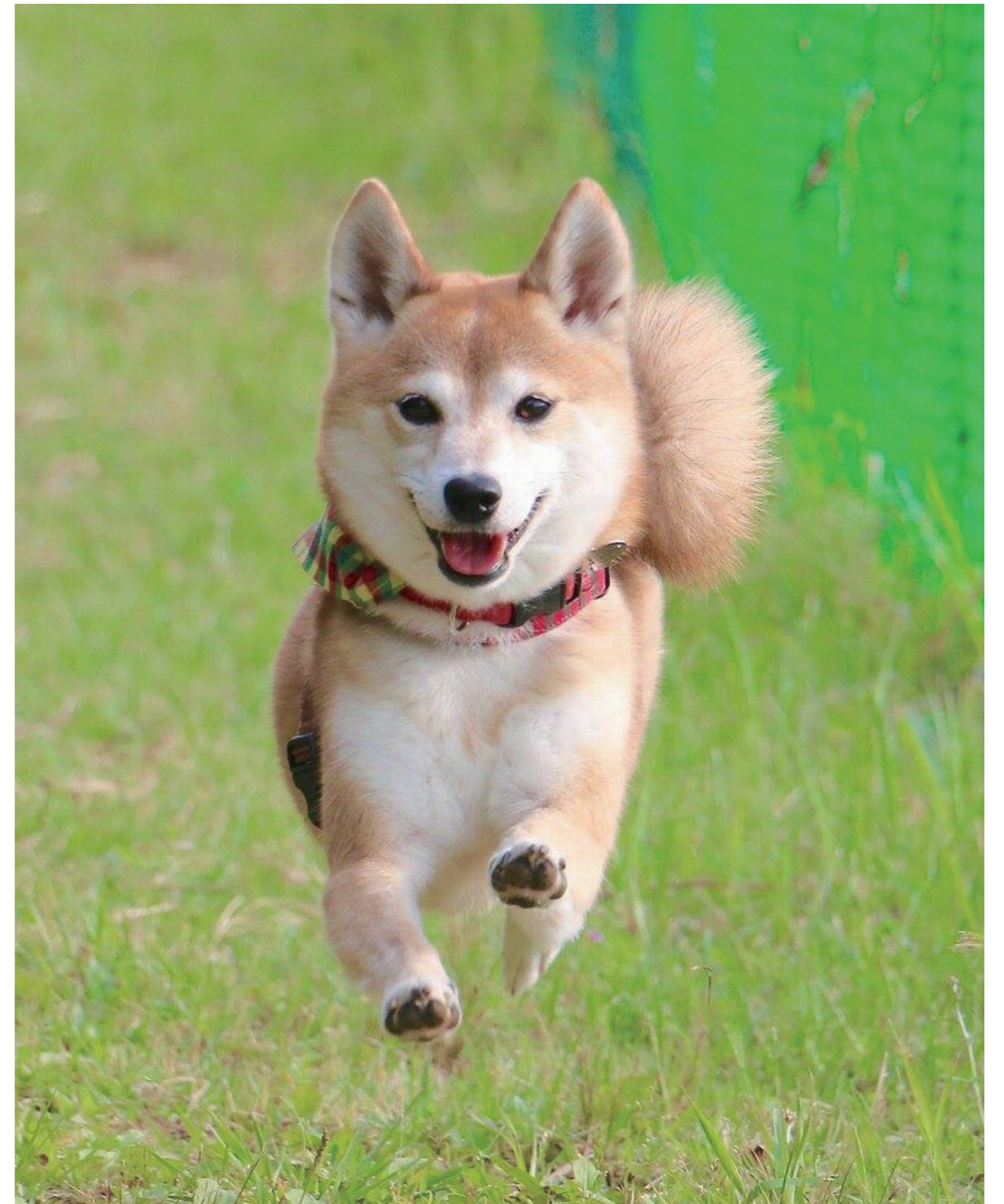
1頭あたり、5,000円の助成を行いました。

? **団体譲渡制度って?** 行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体又は個人に、保護された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティア団体が協力することで、より多くの保護された犬猫に家族を得るチャンスを与えることができます!

平成28年度助成実績

平成28年度は、**7**団体によって**19**頭が再譲渡され、合計**95,000**円の助成を行いました。

頭数 **19**頭 × **5,000**円 = 助成金額合計 **95,000**円



ブリーダーが放棄したことで、たくさんの仲間たちと保健所に持ち込まれた推定2歳の「ゆりあ」。
外の世界を知らず育ったため、全てが恐怖の対象でした。いつも尻尾をお尻の中に仕舞い込んでいた日々…。
先住犬を慕い、たくさんのかたを学び、克服して今ではこんな風に全身で喜びを表現し、輝く笑顔で野原を走り回っています!
どうか、悲しい思いをしている犬猫が、ごはんの心配をせず温かいお布団で休め
本来の輝く笑顔を取り戻せる世の中になりますように!!

「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2016」入選作品 千葉 弘美

「不幸な犬猫を減らしたい」

あなたの思い、動物たちに届けます。

殺処分ゼロを実現するため、
あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

2,000円で一頭のオスねこが…

4,000円で一頭のメスねこが…

「不妊手術」を受けることができます。

寄付はこちら

郵便局

00230-8-72832
公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンハウジンドウブツキキ)

銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)
普通 4172198
公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンハウジンドウブツキキ)

どうぶつ基金
QRコード



かざして基金
QRコード



かざして募金

WEB寄付のお願い特設ページ

どうぶつ基金 寄付

voice

ご寄付をいただいた皆様に現場から感謝の声が届いています!

ご寄付いただいている皆様のおかげで、
だんだんとノラ猫の住みやすい環境にな
ってきています。そして保健所で殺処分
が減ったことが更にやる気になります。十
分な不妊手術費用を用意出来ない分、皆
様のご寄付が何よりもありがたく助かっ
ています。心から感謝しています。

協働ボランティア
桑野 佳子さん 千葉県

皆様のご支援により、たくさ
んの命が救われ、また動物と
人間の共存につながる社会
問題の解決になっている事
に深く感謝いたします。

協働ボランティア
永井 秀子さん 大阪府

本当に「ありがとう」の言葉
以外にありません。皆様の優
しい心が小さな命を守って
います。皆様の寄付でかわい
そうな猫を確実に減らして
います。本当にありがとうご
ざいました。

協働ボランティア
角野 春美さん 東京都



さくらねこ
SHOP

sakura neko shop
http://doubutukikin.thebase.in/



かわいいグッズを買って寄付する、
どうぶつ基金公式「さくらねこSHOP」がOPEN!

どうぶつ基金のオフィシャルネットショップです。収益は犬やねこの救済に使われます。

amazon.co.jp でもご購入いただけます。Sakura neko Shop Amazon店





D 公益財団法人 どうぶつ基金

どうぶつ基金は、昭和63年に設立されて以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。当基金では、約10万頭(平成26年度)の犬や猫の行政による殺処分を早期にゼロにするために様々な取り組みを行っています。犬や猫の殺処分数は年々減少しており、殺処分ゼロは決して夢物語ではありません。今までの「蛇口は開きっぱなし、桶から漏れた水はどんどん下水に流す」というシステムを変え「蛇口を絞って、受ける桶を大きくする」ということを地道に実践し訴えることが殺処分ゼロへの近道だと考えています。このビジョンに従い当基金の事業は成り立っています。蛇口を締める取り組みが「さくらねこ無料不妊手術事業」です。さくらねこTNRを推進することで、殺処分される猫を減らすことができます。受け皿を大きくする取り組みが「行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度」と「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト」です。助成金制度によって、殺処分対象の犬や猫を引き取り、新しい飼い主を探す取り組みをしている団体を応援します。写真・動画コンテストによって、ペットを買わずに飼うことの素晴らしさを広め、現在飼い主のいない犬や猫の受け入れ先を増やします。

当基金は「動物と人が幸せに共存できる日本」「殺処分ゼロの国日本」の実現のため、やみくもに活動するのではなく、社会システムを見極めたうえで、明確なビジョンの元に地道な取り組みをこれからも続けていきます。



history

- 昭和63年 富岡操(初代会長)横浜市に財団法人横浜動物福祉協会を設立。
- 平成2年 神奈川県愛甲郡清川村に動物保護シェルター建設
- 平成10年 名称を財団法人富岡操動物愛護基金に変更
- 平成17年 地域猫無料不妊手術を開始
- 平成18年 代表に佐上邦久就任
- 地域猫無料不妊手術1,000頭
- 座間市で行政による猫引取り殺処分ゼロを達成
- 名称を財団法人どうぶつ基金に変更
- 平成19年 清川村で集中不妊手術、保健所による猫引取り殺処分数ゼロ達成
- 厚木市で200頭の集中無料不妊手術の結果殺処分38%減少
- 猫無料不妊手術3,000頭達成(平成18・19・20年度合計)
- 平成20年 猫TNR助成金制度を開始
- 平成21年 内閣総理大臣より公益財団法人承認
- 平成22年 兵庫県芦屋市に事務局移転
- 環境省主催生物多様性エキスポ出展
- 衆議院会館で理事長が講演「殺処分ゼロへの提言」
- いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞開始
- 山口武雄前代表 動物愛護功労者環境大臣表彰受賞
- 佐上理事長 環境大臣表敬訪問
- 「どうぶつからの感謝状」環境大臣賞実施
- 平成23年 石垣市と協働さくらねこ無料不妊手術
- 平成24年 世界遺産国宝姫路城で出張手術実施
- 平成25年 徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト開始
- 平成26年 行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度開始
- ポスターコンテスト開催 森田恭通賞発表
- 平成27年 行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度実施
- 徳之島 猫の捕食によるアミノクロウサギ死体発見1件に減少
- 社会貢献支援財団(安倍昭恵会長)より日本財団賞受賞
- 平成28年 さくらねこ無料不妊手術35,000頭達成(累計)
- 徳之島 猫の捕食によるアミノクロウサギ死体発見0件達成



創設者 富岡 操



平成2年～平成18年
動物保護シェルター



環境大臣を表敬訪問



社会貢献支援財団
日本財団賞受賞

正味財産増減計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで 公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	85,807,184	48,084,677	37,722,507
基本財産運用益	5,084,342	18,090,685	△ 13,006,343
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	5,084,342	18,090,685	△ 13,006,343
受取寄付金	72,798,180	29,968,499	42,829,681
グッズ販売収益	7,365,980	0	7,365,980
雑収入	558,682	25,493	533,189
(2) 経常費用	92,773,431	51,403,963	41,369,468
事業費	91,510,151	50,602,203	40,907,948
給与手当	1,181,602	2,552,370	△ 1,370,768
法定福利費	239,231	0	239,231
旅費交通費	255,776	2,146,738	△ 1,890,962
通信費	247,804	242,927	4,877
荷造運賃	1,177,052	1,447,660	△ 270,608
広報費	10,548,642	11,971,271	△ 1,422,629
消耗品費	143,339	1,734,237	△ 1,590,898
事務用品費	348,540	0	348,540
修繕費	142,028	0	142,028
保険料	23,068	0	23,068
支払手数料	381,596	2,292,729	△ 1,911,133
支払報酬料	50,000	0	50,000
事務手数料	10,665,432	0	10,665,432
不妊手術援助費	64,067,662	0	64,067,662
支払助成金	130,000	27,555,392	△ 27,425,392
グッズ製作費	1,712,915	0	1,712,915
雑費	195,464	658,879	△ 463,415
管理費	1,263,280	801,760	461,520
給与手当	131,288	0	131,288
法定福利費	26,581	0	26,581
旅費交通費	28,419	0	28,419
通信費	27,534	0	27,534
荷造運賃	130,783	0	130,783
消耗品費	15,927	0	15,927
事務用品費	38,727	0	38,727
修繕費	15,781	0	15,781
保険料	2,562	0	2,562
租税公課	25,560	38,200	△ 12,640
支払手数料	42,400	0	42,400
支払報酬料	756,000	763,560	△ 7,560
雑費	21,718	0	21,718
当期経常増減額	△ 6,966,247	△ 3,319,286	△ 3,646,961
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
(2) 経常外費用	5,278,684	18,352,165	△ 13,073,481
基本財産評価損	5,278,684	18,352,165	△ 13,073,481
当期経常外増減額	△ 5,278,684	△ 18,352,165	13,073,481
当期一般正味財産増減額	△ 12,244,931	△ 21,671,451	9,426,520
一般正味財産期首残高	153,262,716	174,934,167	△ 21,671,451
一般正味財産期末残高	141,017,785	153,262,716	△ 12,244,931
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	141,017,785	153,262,716	△ 12,244,931

貸借対照表 平成29年3月31日現在 公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	27,037,063	9,057,159	17,979,904
商品	1,049,908	0	1,049,908
未収入金	192,320	477,066	△ 284,746
流動資産合計	28,279,291	9,534,225	18,745,066
2 固定資産			
基本財産	116,646,549	146,086,257	△ 29,439,708
投資有価証券	116,646,549	146,086,257	△ 29,439,708
その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	116,646,549	146,086,257	△ 29,439,708
資産合計	144,925,840	155,620,482	△ 10,694,642
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,757,764	2,335,205	1,422,559
預り金	150,291	22,561	127,730
流動負債合計	3,908,055	2,357,766	1,550,289
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,908,055	2,357,766	1,550,289
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産	141,017,785	153,262,716	△ 12,244,931
(うち基本財産への充当額)	(116,646,549)	(146,086,257)	(△29,439,708)
正味財産合計	141,017,785	153,262,716	△ 12,244,931
負債及び正味財産合計	144,925,840	155,620,482	△ 10,694,642



どうぶつ基金は、人とどうぶつが
幸せに共生できる社会づくりに貢献します。